

馬鈴薯

BA REI SHO

Clouds above my head

向井千恵 Chie MUKAI 胡弓er-hu, voice, dance

長屋和哉 Kazuya NAGAYA guitar

小宮広子 Hiroko KOMIYA voice, object sounds

アントワン・ルテリエ Antoine LETELLIER guitar, wind instruments

レナ・サーカス Lena circus

Improvised performance



KID AILACK ART HALL 2011/03/28 Mon.
Open 7:00pm Start 7:30pm

Improvised performance - 即興的パフォーマンス

向井千恵 Chie MUKAI (胡弓er-hu, voice, dance)

<http://www.kilie.com/mukai/>

1975年、神田美学校小杉武久音楽教場に学び、胡弓(二胡)を手にし、即興演奏を始める。

地歌を中華総躍に師事。

"East Bionic Symphonia", "STEREOS" 等に参画。

1981年より自身のユニット "Che-SHIZU (シェシズ)" を始める。

1983年頃より、Che-SHIZUはオリジナル曲を中心に演奏するロックバンドとして活動。

現在、Che-SHIZU、即興演奏グループ "打鈍 (dadunr)", "ENKIDU", "ゾロの演奏の他、様々な音楽家、舞踏家、

パフォーマー等と国内外で共演している。

即興表現によるMIXED MEDIA ARTのフェスティバル "PERSPECTIVE EMOTION (透視的情動)" 主宰。

即興表現ワークショップを各地で開催している。

長屋和哉 Kazuya NAGAYA (guitar)

<http://www.ame-ambient.com/>

これまでに7枚のソロCDをリリース。初期の3枚「うつほ」「子の熊野」「魂は空に 魂は地に」は修験の聖地・吉野を拠点に制作された吉野3部作で、極限まで音を削り込んだ静寂の余韻を特徴としている。ストイックで凛々とした気配が漂うアルバム群。

その後、ハケ岳に拠点を移し、「シークレットライム」「すべての美しい闇のために」「イリュミナシオン/冥王星」「サイレントガーデン」をリリース。

Plastikman (a.k.a.リッチー・ホーティン) のリミックス、『地球交響曲第6番』に出演。エッセイ集『すべての美しい闇のために』(春秋社刊)を発表。

ライブ活動は多岐に渡る。コラボレーターは近藤等則、おおかた静流、スーザン・オズボーン、ボブ・サム (ストーリーテラー)、山口小夜子、チベット密教僧、等幅広い。

小宮 広子 Hiroko KOMIYA (voice, object sounds)

http://www.jinen-butoh.com/hiroko_profile_e.html

<http://sometimestudio.org/people/index.php?usrid=11>

その場の空気、空間、踊る身体から感じる直感やイメージをメロディやリズムにとらわれることなく即興の音に表現する。その音は自然物や身の回りにある様々なオブジェクト (物) に生命を吹き込むように感じられ、その表現は、聴く者の呼吸や動作に新しい感覚を呼び覚ます。自然の素材や金属ボウル、パーカッション、玩具、声などを使う。

1999年に竹之内淳志ヨーロッパツアーにて音楽を担当。その後もフランス、ポーランド、イタリア、ギリシャなどヨーロッパをベースに活動を展開する。以来、主に竹之内淳志舞踏公演、プロジェクト、ワークショップの音楽を担当し、またジャンルを超えて即興音楽のライブも行う。最近では映像、フィルム、インスタレーション、美術家とのコラボレーションも行う。

2009年に初のソロアルバム「Eau Nouvelle -新しい水-」をフランスでリリース。コラボレーションでは、現代音楽家のラムンショー・マッタのCD「matta」、実験音楽バンドのレナ・サーカスのCD「時の在処」等をリリース。2011年、パリのサムタイムスタジオプロデュースにより、音楽家長屋和哉とのコラボレーションアルバムを制作中。

アントワン・ルテリエ Antoine LETELLIER (guitar, wind instruments)

レナ・サーカス Lena Circus

<http://www.lenacircus.com>

パリ生まれ。いくつかの音響系バンドの後、1999年にギタリスト ニコラ・ムーランと実験音楽デュオ レナ・サーカスを結成。現在はギョーム・アルボンヴィルをドラマーに迎え3人で活動中。

ギター、サックス、トランペット等にエフェクトをかけ、形式にとられない独特の音風景を奏でる。

美術家、舞踏家、映像作品とのコラボレーションを頻繁に行っている。(イビサジャパンフェスティバル、パリフィルムフェスティバル等)

明大前

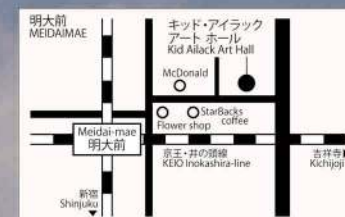
KID AILACK ART HALL

<http://www.kidailack.co.jp>

2011/03/28 Mon.

Open 7:00pm Start 7:30pm

1,700 yen with 1 drink



キッド・アイルック・ホール
〒156-0043 東京都世田谷区松原2-43-11
TEL.03-3322-5564